

誰でも失敗はするもの チャレンジ、チャレンジ！

校長 岡村 浩之

今年度は、99人の幼児児童生徒が在籍しています。一人一人が失敗を恐れずに、いろいろなことにチャレンジしてくれることを願い、始業式で次のことを話しました。

みなさん、おはようございます。

今日から新しい学年での学習が始まります。一人一人が自分の1年後の姿を思い描き、できなかったこと、苦手だったことが少しでもできるといいですね。

今日は皆さんに1匹の魚のことを紹介します。それは、桜の咲く頃になると、海から生まれた川に戻ってくる桜鱒のことです。桜鱒は、川で生まれ海に出て行きますが、なぜ海に出て行くのでしょうか。理由は、生きていくための餌を食べる場所取りに失敗したからです。桜鱒はもともとヤマメという魚です。場所取りに成功したヤマメは一生川で過ごすことができますが、そうでないヤマメは海に出るしかなかったのです。海には川よりもたくさんの敵がいて生きていくことは並大抵の事ではありません。でも、それを乗り越え、餌をたくさん食べて大きく育ち川に戻ってきたものが桜鱒です。ヤマメは大きくて30cmですが、桜鱒は60cmから80cm位に大きくなっています。

誰にでも失敗することはあります。そのあと、「やめた」となるか「もう一度頑張ってみよう」と決めるのは、自分自身です。私は、皆さんには、「もう一度頑張ってみよう」と、顔を上げ前に向かってほしいと思います。

これから1年、いろいろなことにチャレンジしてください。失敗しても大丈夫。きっと、次は成功するか、または成功するためのヒントが見つかります。皆さんの周りにいる先生は、皆さんの頑張る姿を、頑張ろうとする心を支えてくれます。安心して学んでください。これで話を終わります。

幼稚部、小学部の子どももいるので、魚の模型を作り釣り上げる様子も見てもらいました。この1年、子どもたちがどんなチャレンジをするのか、どんな成長を見せてくれるのか、楽しみでたまりません。